



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月4日

上場会社名 綜研化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4972 URL <https://www.soken-ce.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 純一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) IR・広報室長 (氏名) 和田 裕子 (TEL) 03-3983-3268  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	19,454	9.6	1,087	△18.7	1,452	△2.0	1,080	△8.4
2022年3月期第2四半期	17,742	26.7	1,337	△6.5	1,481	△0.1	1,179	△1.1

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,616百万円(33.2%) 2022年3月期第2四半期 1,965百万円(95.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	130.85	—
2022年3月期第2四半期	143.16	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	46,470	30,374	65.4
2022年3月期	45,582	28,348	62.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 30,374百万円 2022年3月期 28,348百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	75.00	75.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期(予想)			—	85.00	85.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	3.5	2,500	12.1	2,800	2.0	2,000	△2.0	242.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	8,300,000株	2022年3月期	8,300,000株
2023年3月期2Q	33,447株	2022年3月期	48,847株
2023年3月期2Q	8,255,950株	2022年3月期2Q	8,240,711株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、行動制限緩和によるコロナ禍からの持ち直しの動きが見られたものの、ウクライナ情勢の悪化・長期化や中国での新型コロナウイルス感染症対策の継続などに伴う、資源価格をはじめとする世界的な物価上昇の深刻化に比べ、海外主要国での金融引き締めによる景気減速が懸念されるなど、先行き不透明かつ厳しい状況にありました。

このような状況のもと、当社グループは、原材料価格上昇に応じた適切な価格転嫁やコスト削減施策による収益性の改善に注力するとともに、液晶ディスプレイ分野をはじめとする既存事業領域における収益基盤の維持・拡大を図っております。また、持続的成長と企業価値向上を果たすために、自動車、情報・電子など成長分野での新たな事業機会の創出による成長基盤の構築、医療ヘルスケア・環境・エネルギー分野での研究機関やスタートアップ企業との連携による社会課題解決を志向した新規事業開発体制の確立に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、第2四半期における液晶ディスプレイ関連分野での急激な生産調整の影響を受けてケミカルズの販売が落ち込みましたが、価格改定の効果や円安に伴う中国子会社売上高の為替換算額の増加などにより、売上高は194億54百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

利益面では、原材料価格が高騰するなかで価格転嫁のタイムラグが継続したことや、第2四半期における顧客の生産調整に伴う工場稼働率の低下などにより、営業利益は10億87百万円（前年同期比18.7%減）となり、経常利益は為替差益の計上などにより14億52百万円（前年同期比2.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億80百万円（前年同期比8.4%減）となりました。

セグメントの状況は、以下のとおりです。

#### <ケミカルズ>

ケミカルズについては、売上高は179億87百万円（前年同期比15.0%増）となりました。製品別の状況は、以下のとおりです。

粘着剤関連製品は、液晶ディスプレイ関連用途向けの販売数量が生産調整の影響を受けて減少に転じましたが、価格改定の効果などにより、売上高は113億72百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

微粉体製品は、中国市場での光拡散用途向けの在庫調整が長期化するなかで販売数量が減少し、売上高は14億42百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

特殊機能材製品は、中国市場での電子材料用途向けの販売数量が減少したものの、円安に伴う為替換算額の増加により、売上高は16億57百万円（前年同期比3.9%増）となりました。

加工製品は、中国市場を中心に機能性粘着テープの販売が自動車内装部材や情報電子機器用途向けで増加したことなどにより、売上高は35億14百万円（前年同期比39.0%増）となりました。

#### <装置システム>

装置システムについては、国内設備投資が回復傾向にあるなか、受注高及び受注残高は伸びているものの、設備関連の工事完成高が前年同期に比べ減少し、売上高は14億66百万円（前年同期比30.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末（以下「当期末」という。）の総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて8億87百万円増加し、464億70百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産が増加したものの、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産、有価証券が減少したことなどにより、前期末に比べ8億12百万円減少し、270億61百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産が増加したことなどにより、前期末に比べ16億99百万円増加し、194億8百万円となりました。

一方、負債については長期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金が減少したことなどにより、前期末に比べ11億38百万円減少し、160億95百万円となりました。

当期末における純資産は、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したことなどにより、前期末に比べ20億25百万円増加し、303億74百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末62.2%から3.2ポイント増加し65.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前期末に比べ13億41百万円減少し、98億62百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、1億18百万円となりました。

これは、主に税金等調整前四半期純利益13億71百万円、減価償却費9億22百万円、売上債権及び契約資産の減少9億13百万円などによる増加と、仕入債務の減少18億53百万円、たな卸資産の増加5億13百万円、法人税等の支払額4億9百万円などに伴う減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、17億17百万円となりました。

これは、主に有形固定資産の取得17億94百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、1億91百万円となりました。

これは、主に長期借入金の借入れ4億52百万円による増加と、配当金の支払額6億18百万円などに伴う減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,203,486	6,362,450
受取手形、売掛金及び契約資産	8,026,469	7,400,682
電子記録債権	2,410,428	2,709,598
有価証券	4,000,000	3,500,000
商品及び製品	4,271,337	4,802,926
仕掛品	47,115	161,293
原材料及び貯蔵品	1,338,082	1,583,846
その他	588,588	553,775
貸倒引当金	△11,625	△13,106
流動資産合計	27,873,883	27,061,467
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,231,963	16,820,887
減価償却累計額	△9,137,730	△9,692,054
建物及び構築物（純額）	7,094,232	7,128,832
機械装置及び運搬具	20,269,712	21,191,390
減価償却累計額	△16,222,652	△16,916,543
機械装置及び運搬具（純額）	4,047,060	4,274,846
土地	1,347,465	1,434,435
使用権資産	735,187	828,867
減価償却累計額	△186,967	△225,961
使用権資産（純額）	548,219	602,906
建設仮勘定	2,266,078	3,605,943
その他	3,302,832	3,456,629
減価償却累計額	△2,470,111	△2,608,216
その他（純額）	832,720	848,412
有形固定資産合計	16,135,776	17,895,376
無形固定資産		
その他	328,701	253,015
無形固定資産合計	328,701	253,015
投資その他の資産		
投資有価証券	63,469	63,389
繰延税金資産	1,008,751	1,012,060
その他	290,106	309,203
貸倒引当金	△118,110	△124,410
投資その他の資産合計	1,244,217	1,260,243
固定資産合計	17,708,695	19,408,635
資産合計	45,582,578	46,470,103

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,146,311	6,737,058
電子記録債務	740,510	645,480
短期借入金	1,092,618	1,285,375
1年内返済予定の長期借入金	90,250	356,125
未払法人税等	328,080	199,279
賞与引当金	654,290	443,883
役員賞与引当金	63,000	32,500
完成工事補償引当金	8,500	4,400
工事損失引当金	0	417
その他	1,785,843	1,714,396
流動負債合計	12,909,404	11,418,916
固定負債		
長期借入金	2,440,126	2,821,325
退職給付に係る負債	1,802,523	1,776,872
資産除去債務	46,647	46,696
その他	35,606	32,083
固定負債合計	4,324,902	4,676,977
負債合計	17,234,307	16,095,893
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,402,662	3,412,273
利益剰余金	19,697,641	20,159,120
自己株式	△58,455	△40,038
株主資本合計	26,403,411	26,892,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,586	3,506
為替換算調整勘定	1,909,685	3,438,224
退職給付に係る調整累計額	31,588	39,559
その他の包括利益累計額合計	1,944,859	3,481,290
純資産合計	28,348,270	30,374,209
負債純資産合計	45,582,578	46,470,103

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	17,742,415	19,454,213
売上原価	12,687,350	14,206,269
売上総利益	5,055,064	5,247,944
販売費及び一般管理費	3,717,934	4,160,549
営業利益	1,337,129	1,087,395
営業外収益		
受取利息及び配当金	18,093	20,965
為替差益	92,584	324,679
補助金収入	36,833	29,666
雑収入	34,663	31,383
営業外収益合計	182,175	406,695
営業外費用		
支払利息	22,031	15,298
雑損失	15,882	26,378
営業外費用合計	37,914	41,676
経常利益	1,481,391	1,452,413
特別利益		
固定資産売却益	16	5,664
投資有価証券売却益	53,011	—
補助金収入	—	75,091
特別利益合計	53,027	80,756
特別損失		
固定資産除売却損	17,785	86,570
固定資産圧縮損	—	75,091
投資有価証券売却損	3,147	—
特別損失合計	20,932	161,661
税金等調整前四半期純利益	1,513,486	1,371,508
法人税等	333,754	291,192
四半期純利益	1,179,731	1,080,316
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,179,731	1,080,316



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	1,179,731	1,080,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,812	△79
為替換算調整勘定	815,678	1,528,539
退職給付に係る調整額	8,458	7,971
その他の包括利益合計	785,323	1,536,431
四半期包括利益	1,965,055	2,616,747
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,965,055	2,616,747

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,513,486	1,371,508
減価償却費	900,630	922,887
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,820	6,300
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△212,329	△210,407
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,982	△14,047
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	2,000	△4,100
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△41,500	△30,500
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	880	417
受取利息及び受取配当金	△18,093	△20,965
支払利息	22,031	15,298
為替差損益 (△は益)	△1,107	△111,233
補助金収入	△36,833	△104,758
固定資産除売却損益 (△は益)	17,769	80,905
投資有価証券売却損益 (△は益)	△49,864	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	1,301,703	913,693
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,028,302	△1,853,338
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△783,290	△513,488
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△49,557	△157,247
固定資産圧縮損	—	75,091
その他	△1,145,061	117,363
小計	2,460,967	483,378
利息及び配当金の受取額	18,094	21,189
補助金の受取額	36,833	29,666
利息の支払額	△22,908	△6,381
法人税等の支払額	△785,652	△409,138
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,707,334</b>	<b>118,714</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,702,484	△1,794,243
有形固定資産の売却による収入	390	4,549
無形固定資産の取得による支出	△25,587	—
投資有価証券の取得による支出	△4,673	—
投資有価証券の売却による収入	112,394	—
その他	△517	72,151
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,620,478</b>	<b>△1,717,543</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	△17,570
長期借入れによる収入	328,671	452,067
長期借入金の返済による支出	△120,000	—
自己株式の取得による支出	△68	—
配当金の支払額	△617,044	△618,602
その他	△356	△7,564
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△408,798</b>	<b>△191,669</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	187,948	449,462
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△133,993</b>	<b>△1,341,035</b>
現金及び現金同等物の期首残高	9,600,229	11,203,486
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>9,466,236</b>	<b>9,862,450</b>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,640,838	2,101,576	17,742,415	—	17,742,415
セグメント間の 内部売上高又は振替高	220	208,136	208,356	△208,356	—
計	15,641,058	2,309,713	17,950,771	△208,356	17,742,415
セグメント利益	1,148,926	217,411	1,366,337	△29,207	1,337,129

(注) 1. セグメント利益の調整額△29,207千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ケミカルズ	装置システム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,987,382	1,466,831	19,454,213	—	19,454,213
セグメント間の 内部売上高又は振替高	172	11,910	12,082	△12,082	—
計	17,987,554	1,478,741	19,466,296	△12,082	19,454,213
セグメント利益	1,036,199	45,247	1,081,446	5,948	1,087,395

(注) 1. セグメント利益の調整額5,948千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。